



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第189号 2017年12月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成29年12月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

お世話になりました

今年もお世話になりました。皆様におかれまして、2017年はいかがでしたでしょうか。弊社では、今年も昨年同様に、地元のお客様のリフォーム、介護保険制度を利用した住宅改修工事を中心に取り組んで参りました。また、「よこすか産業まつり」に出展し、お陰様で、たくさんの方々にご来場いただきました。



今後とも、皆様にご満足いただけるよ

うなサービスや企画に取り組んで参りますので、ご愛顧、ご愛読の程、よろしくお願ひ申し上げます。

これから寒さが増して参りますので、ご自愛の程、お祈り申し上げます。少し早いですが良いお年をお迎えください。

リニューアル

ウェブサイトのリニューアルしました。



Gallery(すまい造りギャラリー)では、リフォームや介護保険住宅改修の写真とともに工事概要やお客様のご感想などをご紹介させていただきました。

また、Story(新よこすか風土記)では、この「すまい造りメール」で連載させていただいている「横須賀製鉄所物語」「よこすか文学館」などを再編集させていただきました。

さらに、「快適な暮らし」のダイアリーとしてブログを開設させていただきました。是非、お立ち寄りいただき、ご感想などをいただけたら幸いです。

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next50**

よこすか文学館

横須賀に生まれ育ち、広島海軍兵学校で終戦を迎え、その後、短歌の道に精進し、数々の作品を残した島田修二についてご紹介します。

第十二回 (労働詠歌②)
いつびきのけものとなりて出でゆかん
職捨つる日に自動ドア開く
島田修二

第四歌集『渚の日日』(1983年)所収。島田は1953年に東京大学を卒業し読売新聞社に入社しましたが、1979年3月末日、退職します。島田が51歳の年です。掲出歌はまさにその退職の日の詠。大企業を離れ「いつびき(一匹)のけもの(獣)」となった島田は、この後、旺盛な作歌、執筆活動を続け、1988年、60歳のとき、自ら歌誌『青藍』を創刊します。そして、最後の歌集となる第9歌集『行路』(2000年)を刊行、2004年に永眠します。享年76。㊦



洗足学園中学高校教諭 中島正二

お客様のご紹介で担当させていただいたお住まいをご紹介させていただきます。今回は、10月末に2週連続で日本列島に大きな被害をもたらした台風による補修工事です。海からの強い浜風が谷戸の地形に沿って吹き上げたため、建物に固定されていたベランダの屋根があおられて外れ、宙ぶらりんの状態になってしまいました。次の台風が来る前に解体と撤去作業が完了しました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「いままでに体験したことのない強い風で驚きました。これで、ぐっすり眠ることが出来ます」という感想をいただきました。

風が吹けば嵐になり、雨が降れば豪雨になるといったように、昨今では、限度を超えた気象現象が発生しています。「生活の場」「くつろぎの場」として、快適で安心して暮らし続けることができるように、常日頃からこまめに点検をして、適切なメンテナンスを心掛け、強烈な暴風雨に備えましょう。



4人がかりで屋根を解体しました

横須賀製鉄所物語（横須賀製鉄所とMM21）＜41＞

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

横須賀製鉄所（造船所）は、フランスの協力により日本における近代的な造船業の先駆けとしてスタートしました。それまで造船は徳川幕府の大型船建造が禁止されていたので、北前船のような国内を航行する船の建造が中心でした。

そこで、先進諸外国のような大型船を建造するには、造船の一から学ばなければなりません。『横須賀海軍船廠史』慶応元年紀によりますと徳川幕府は、幕府とフランスとの間で作成された「横須賀製鉄所設立原案」の第5節内国官吏組織事項の中にフランス海軍の校則により学校を設置することが明記されています。その学校（覺舎）の2期生（明治6年卒業）恒川柳作は優れた造船技術を身につけました。そして、現在の在日米海軍横須賀基地内に所在する2号ドックは、フランス人技術者により設計監理されて建設されたものではなく、恒川柳作により設計監理され建設されたものです。



ランドマークタワーと
ドックヤードガーデン

恒川柳作によるドックの建設は横須賀だけでなく、1894年（明治27年）には横浜船渠株式会社からの依頼を受けて、1号ドックから3号ドックまでの建設事業の実施に当たりました。そのドックが横須賀市内MM21地区内にあるドックで、最初に建設されたのが2号ドックで1895年（明治28年）1月に着工し、1869年（明治29年）12月に完成しました。横須賀製鉄所1号ドック完成から25年後のことでした。次に建設されたのが1号ドックで1898年（明治31年）に完成しました。MM21の開発に当たっては1号ドックには帆船日本丸が展示され、2号ドックは1993年（平成5）ランドマークタワーの開業とともに、ドックをそのまま保存し、ドックヤードガーデンとしてイベントスペースの利用が図られ、多くの市民や観光客を集めています。

これらのドライドックを建設した恒川柳作は、横須賀・浦賀・横浜の神奈川県内のドックだけではなく、日本の旧鎮守府が所在した呉・佐世保・舞鶴のドライドックの建設にも携わりました。このようにして、横須賀製鉄所で教育を受けた造船技師によって建設されたドックは日本遺産として認定されました。

機会を見てそれぞれのドックを見学することも楽しい散策となることでしょう。

※ ドライドック…船舶の製造修理などに際して用いられる設備、船渠（せんきょ）、乾船渠とも呼ばれる。通常、単に「ドック」と言えば、この「乾ドック」のことを指す。

（元横須賀市助役 井上吉隆）

よこすか産業まつり

11月11日(土)12日(日)三笠公園で「よこすか産業まつり」が開催されました。横須賀市の発表によりますと、両日でのべ38,000人（11日18,000人/12日20,000人）の来場者がありました。弊社のブースにも、たくさんの小さなお客様とご一緒にご家族の皆様95組にご来場いただきました。小さな手で、大きな夢を持って、歴史を活かした街づくりにご参加いただきました。2009年に初めて出展して以来9年目となり、毎年来ていただいているお客様2組にスタッフとしてお手伝いをしていただきました。平和公園（勝手に命名）とヴェルニー公園、ナウマンゾウの発見を記念して作られた動物園「NAUMAN ZOO」（勝手に命名）を作成していただきました。おかげさまで、2015～17シーズンは、横須賀製鉄所周辺の過去・現在・未来の街「ARSENAL D' IOKOSKA」が完成しました。ご協力ありがとうございました。来年も「家族でゆったりと、みんなで楽しく、夢のある『すまい造り』を、自分で考え、手を動かし、完成する」というコンセプトで体験型アトラクション「猿島に住もう」を計画しております。来年も是非、ご参加ください。



現在の汐入駅前に建設された
ヴェルニー公園とナウマン動物園

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2017」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索